

## 「ひとあそび。」の活動を見学しました。

2024年7月23日（火）、東広島市西条酒蔵通り町家で開催された「都道府県カードゲームで遊ぼう！」を見学しました。



主催者の「ひとあそび。」は、広島大学教育学部の学生さんが立ち上げられた団体で、以下の目的で活動をしておられます。

- ・学習系オリジナルゲームの製作により、子どもたちに学びのきっかけを提供すること
- ・アナログゲームを用いた遊びの場を定期的に設けることで、子どもたちの居場所を作り出すこと

東広島市・学生発スタートアップチャレンジ2023において「遊び×教育～オリジナルカードゲームで学びの機会を～」というテーマで賞を受賞、現在は、カードゲームを販売し、その収益を活動費の一部にあてたり、新たな学習系ゲームの製作を計画したりしておられます。



「ひとあそび。」制作の  
オリジナルカードゲーム

イベント当日、町家に集まった小学生は、異なる学齢、異なる校区の小学生7名でした。慣れない場所で、会ったばかりの相手とのコミュニケーション。

大人でも少し気合が入る状況ですが、そこはエネルギーあふれる子どもたち。すぐに打ち解け、元気いっぱいカードゲームを楽しんでいました。

「都道府県カードゲームで遊ぼう！」

- ・ 都道府県かるた
- ・ 消えた都道府県はどこ？
- ・ ○○県を探し出せ！
- ・ ○×クイズ



ゲームの中で主催者は、子どもに「○○県」と答えさせるだけでなく「なぜそう思った？」と考えさせる、「調べてみて」と促す、など学びが広がる様々な指導を試みておられました。

また、個人の知識で競う「都道府県かるた」、体を使いながら学ぶ「○○県を探し出せ！」、チームで答えを導き出す「○×クイズ」など、メリハリあるイベント構成や、クイズ番組でお馴染みのメロディーを流す、といった反射的演出は大変面白く、子どもの集中力、脳の働きを活性化させる助けになるのでは、と感じました。

一方、子どもたちも、○×クイズがスムーズに運ぶよう「“せーの”で一斉に答えをあげよう」とルールを提案したり、自分の知っている知識を披露したりするなど、積極的にゲームに参加していました。

以下、集まった皆さま、マツダ財団職員（竹岡）の感想をご紹介します。

参加した小学生：

「知らなかったことが分かってよかったです！」「○×クイズが楽しかったです」

インスタで開催を知り申し込んだ、というお母さん：

「初めて会った子どもたちが、コミュニケーションをとりながら学ぶ、というところに魅力を感じました」「カードゲームを見てみたいので買ってみます」

主催者の「ひとあそび。」さま：

最初、子どもたちが静かで緊張しましたが、ゲームが進むにつれ、元気に参加してくれたのでよかったです。今回のようなイベントを開催しつつ、徐々にではありますが、家庭の諸事情で申し込みに至っていないけれど、実は学校外の学習機会を必要としている子どもたちにも、学びのきっかけや居場所を提供できるよう、活動していきたいと思います。

マツダ財団 竹岡：

イベントには、単に都道府県の知識を学ぶ以上の多くの教育的要素（コミュニケーション能力等の向上）も含まれており、短い時間ながら、それらを遊びながら習得していく子どもたちの姿は、大変頼もしく興味深いものでした。手の届きにくいターゲット層も含め、多くの子どもたちに、楽しい学びの機会、居場所が提供していかれることを期待します。イベントの告知など含め、引き続き財団としても、活動を応援させていただきます。

素晴らしい活動を見学させていただき、ありがとうございました！

（竹岡）